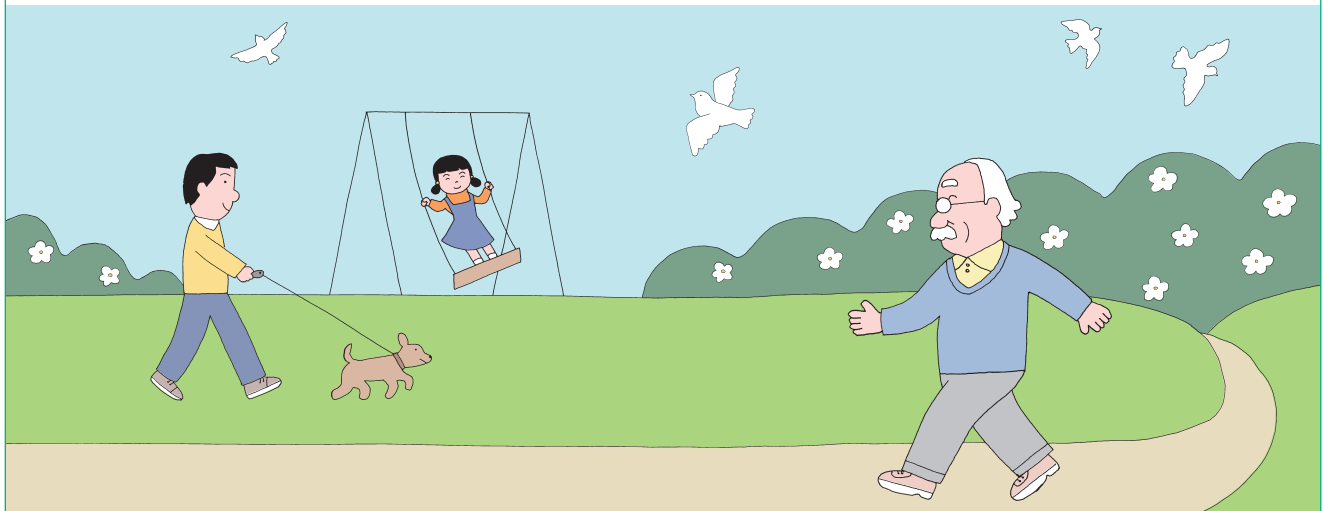


●株主のみなさまへ●

第146期のご報告

平成20年4月1日～平成21年3月31日



 日本新薬株式会社

証券コード 4516

日本新薬企業スローガン

健康未来、創ります。

日本新薬は、医薬品や
機能食品の研究開発を通じ、
長くなった人生を
「穏り多く」「健やかに」「いきいき」と
過ごせるよう、
“健康寿命”の延長をめざします。



表紙のイラスト 和田 誠

Contents

株主のみなさまへ	2
当期の概況	3
主力製品売上高	4
製品開発状況	5-6
連結財務諸表	7-8
財務諸表(個別)	9
業績の推移	10
ニュース	11-12
会社概要 / 役員	13
株式の状況	14

株主のみなさまへ

当期の日本経済は、期間前半は原油・原材料価格の高騰、後半には米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機とそれに続く世界的な消費の低迷、株価の大幅な下落、急速な円高など厳しい状況が続き、企業収益は急速に悪化しました。

医薬品業界においては薬価基準引下げの実施、さらには後発品使用促進策として処方箋様式の再変更が実施されるなど、引き続き厳しい市場環境にあります。食品業界においても原料価格の高騰は期間後半に入り一段落しているものの、価格競争の激化は続いており、加工食品業界、健康食品業界とも厳しい状況が続いております。

このような環境下において、当社は医薬品事業においては、主力品に加え新製品を投入し堅実かつ積極的な営業活動を展開しました。機能食品事業においては、たん白製剤を中心とした製品ラインアップの強化に加え、新たにニュートリション素材の販売を開始しました。その結果、増収、増益の経営成績を残すことができました。

次期におきましても、当期を上回る経営成績の達成を目指した営業活動を行うとともに、新たに始まる第四次5ヵ年中期経営計画で描いた「改革と成長」のシナリオに沿って、社会から信頼される「存在意義のある会社」を目指して事業活動を推進する所存であります。

今後とも株主の皆様の変わらぬご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
前川 重信

平成21年6月

当期の概況

当企業集団は堅実な活動を行い、売上高は630億7千2百万円(対前期比6.1%増収)、営業利益は75億4千7百万円(対前期比16.8%増益)、経常利益は80億4千1百万円(対前期比17.2%増益)、当期純利益は44億9千9百万円(対前期比11.6%増益)となりました。

医薬品事業では、非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤「ハイペン」や頻尿治療剤「ブラダロン」などが競合品の影響などにより伸び悩みましたが、平成20年7月に有効成分を2倍量含有する製剤を新発売した前立腺肥大症治療剤「エビプロスタット」、アレルギー性鼻炎治療剤「バイナス」、アズレン含嗽液「アズノールうがい液」などが伸長しました。さらに平成20年7月に発売した子宮内膜症に伴う月経困難症治療剤「ルナベル」の売上も加わりました。また、ライセンス契約締結に伴う工業所有権等収益もあり、売上高は503億5千7百万円と対前期比3.5%の増収となりました。

機能食品事業においては、健康食品素材は伸び悩みましたが、品質安定保存剤は堅調に推移、製品ラインアップの強化を進めたたん白製剤類に加え、新たに供給を開始したニュートリション素材が寄与し、売上高は127億1千4百万円と対前期比17.8%の増収となりました。

生産面では、さらなる事業発展を目的に製造コストの低減と競争力向上を目指し、平成20年8月に連結子会社のタジマ食品工業株式会社に食品添加物製剤工場を新設し、拠点の集約化を図りました。

<設備投資の状況>

当期の設備投資額は23億3千1百万円で、主たる内容は製造設備、研究開発設備・機器への投資および上記のタジマ食品工業株式会社食添製剤工場の建設によるものです。

主力製品売上高

(百万円)

製 品 名	薬 効	第2四半期累計		通 期			
		H21年 3月期	H22年 3月期(予)	H20年 3月期	H21年 3月期	前年同期 増減率	H22年 3月期(予)
エビプロスタット	前立腺肥大症治療剤	2,849	3,200	5,586	5,950	6.5%	6,400
ハイペン	非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤	2,949	2,900	6,324	5,746	△9.1%	5,600
ガスロンN	粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤	2,052	2,100	4,064	4,080	0.4%	4,200
セレクトール	高血圧・狭心症治療剤 腎実質性高血圧症治療剤	1,766	1,600	3,699	3,415	△7.7%	3,100
ブラダロン	頻尿治療剤	1,579	1,600	3,462	3,153	△8.9%	3,000
エストラサイト	前立腺癌治療剤	1,549	1,600	3,043	3,029	△0.5%	3,000
セファドール	抗めまい剤	1,461	1,400	2,929	2,842	△3.0%	2,800
キロサイド	癌多剤併用療法代謝拮抗剤 再発又は難治性急性白血病治療剤	1,390	1,200	2,683	2,676	△0.3%	2,400
バイナス	アレルギー性鼻炎治療剤	832	1,000	2,206	2,663	20.7%	2,600
アズノールうがい液	アズレン含嗽液	870	1,000	1,923	2,182	13.4%	2,400
シアリス	勃起不全(ED)治療剤	—	600	—	—	—	2,200
工業所有権等収益		2,642	30	1,683	2,582	53.4%	2,300
ブルリフロキサシン原薬		486	600	1,422	1,009	△29.0%	1,200
医薬品 計		25,329	23,950	48,659	50,357	3.5%	52,700
機能食品 計		6,613	6,050	10,790	12,714	17.8%	12,000
売上高		31,942	30,000	59,450	63,072	6.1%	64,700

製品開発状況

〈国内開発状況〉

(平成21年5月15日現在)

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適応	オリジン	開発
申請中	NS-126 (デキサメタゾンシパシル酸エステル)	炎症・アレルギー系	アレルギー性鼻炎	導入:次光製薬(エスエス製薬)	自社
申請中	NS-315 (トラマドール塩酸塩)	炎症・アレルギー系	がん性疼痛(非麻薬性鎮痛剤)	導入:グリュネンタル社(独)	自社
申請中	LY450190 (タダラフィル)	循環代謝系	肺動脈性肺高血圧症	導入:日本イーライリリー	日本イーライリリー
開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適応	オリジン	開発
PⅢ	NS-11 (アカンプロセート)	その他	アルコール依存症	導入:メルセロノ社(スイス)	自社
PⅢ	LY450190 (タダラフィル)	泌尿器系	前立腺肥大症に伴う排尿障害	導入:日本イーライリリー	日本イーライリリー
PⅡ	NS-126 (デキサメタゾンシパシル酸エステル)	炎症・アレルギー系	気管支喘息	導入:次光製薬(エスエス製薬)	自社
PⅡ	NS-17 (アザシチジン)	血液がん	骨髄異形成症候群	導入:セルジーン社(米)	自社
PⅡ準備中	NS-304	循環代謝系	肺高血圧症	自社	共同:アクテリオン社
PⅡ準備中	NS-315 (トラマドール塩酸塩)	炎症・アレルギー系	慢性非がん性疼痛 (非麻薬性鎮痛剤)	導入:グリュネンタル社(独)	自社
PⅠ	NST-141	炎症・アレルギー系	アトピー性皮膚炎に伴うそう痒	自社	共同:大鵬薬品工業

〈海外開発状況〉

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適応	オリジン	開発
発売準備中	NM441 (ブルリフロキサシン)	感染症	合成抗菌剤	自社	導出:柳韓洋行社(韓)
PⅢ					導出:オプティマー社(米)
PⅢ準備中					導出:リーズ・ファーマ社(香港)
PⅡ	NS-304	循環代謝系	肺高血圧症	自社	導出:アクテリオン社(スイス)
PⅡ準備中	NS-187	血液がん	慢性骨髄性白血病	自社	導出:サイトレックス社(米)

申請中	
NS-126 (デキサメタゾンシベシル酸エステル)	1日1回投与の吸入ステロイド剤で、アレルギー性鼻炎について平成18年12月に承認申請。 平成20年6月にユ・ヨン社(韓国)へ導出。
NS-315(トラマドール塩酸塩)	グリュエンタール社(独)から導入した非麻薬性の経口鎮痛剤で、世界100カ国以上で販売されている。軽度から中等度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛を適応症として平成20年7月に承認申請。
LY450190(タダラフィル)	平成21年4月に日本イーライリリーと勃起不全(ED)治療剤「シアリス」(一般名:タダラフィル)ならびにタダラフィルの開発中の適応症に関するライセンス契約を締結。肺動脈性肺高血圧症の適応症については日本イーライリリーが昨年8月に国内で承認申請。
フェーズⅢ	
NS-11(アカンプロセート)	平成15年メルクセローノ社(スイス)から導入したアルコール依存症治療剤で、既に欧米で発売済み。国内では平成21年3月にPⅢ試験を開始した。
LY450190(タダラフィル)	前立腺肥大症に伴う排尿障害の適応症については日本イーライリリーが国内PⅢ試験実施中。
フェーズⅡ	
NS-126 (デキサメタゾンシベシル酸エステル)	気管支喘息についてPⅡa試験終了。
NS-17(アザシチジン)	平成18年セルジーン社(米国)から導入した骨髄異形成症候群(MDS)治療剤で、米国で第一選択薬として用いられている。平成20年12月にセルジーン社がEUで承認取得。全てのMDSサブタイプに効果が認められ、白血病(AML)への転化を遅らせる。作用機序は、血液形成細胞DNAのメチル化阻害。国内PⅡ試験実施中。平成20年11月にオープン指定。
NS-304(海外)	自社開発したプロドラッグ型経口剤で、活性代謝物が長時間血中に持続し、強力かつ選択的なPGI ₂ アゴニスト活性を示す。肺高血圧症治療剤として、欧州医薬品局よりオープン指定済み。欧州ではPⅡ試験実施中。平成20年4月にアクテリオン社(スイス)への導出契約を締結。日本を除く全世界ではアクテリオン社が開発する。
フェーズⅡ 準備中	
NS-304(国内)	国内は、アクテリオン社との共同開発。PI試験を終了し、PⅡ試験準備中。
NS-315(トラマドール塩酸塩)	慢性非がん性疼痛についてPⅡ試験準備中。
NS-187	イマチニブ耐性変異体Bcr-ablチロシンキナーゼとLynチロシンキナーゼを強力に阻害、イマチニブ耐性にも奏効する慢性骨髄性白血病治療剤として開発。平成17年末にサイトレックス社(米国)へ導出。PⅡ試験準備中。
フェーズⅠ	
NST-141	自社開発した抗ヒスタミン作用ではない新規作用機序の外用剤で、既存の薬剤が奏効しない難治性のそう痒に対して効果も期待できる。アトピー性皮膚炎に伴うそう痒を適応症として開発予定で、平成20年10月に大鵬薬品工業と基本契約を締結し、国内において共同開発・共同販売となる。平成21年5月にPI試験を開始した。

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(百万円)

	前期 平成20年3月31日現在	当期 平成21年3月31日現在
【資産の部】	(103,115)	(98,286)
流動資産	56,281	57,578
現金及び預金	11,234	14,687
受取手形及び売掛金	27,036	27,632
有価証券	4,599	1,798
棚卸資産	10,596	10,831
繰延税金資産	1,743	1,617
その他	1,071	1,027
貸倒引当金	△0	△16
固定資産	46,834	40,708
有形固定資産	20,304	20,406
建物及び構築物	8,919	9,021
機械装置及び運搬具	1,898	1,973
工具、器具及び備品	1,085	1,134
土地	8,172	8,161
建設仮勘定	229	113
無形固定資産	259	307
投資その他の資産	26,270	19,993
投資有価証券	19,212	11,532
長期貸付金	453	413
繰延税金資産	55	164
投資不動産	1,356	1,330
長期前払費用	4,527	6,166
その他	718	425
貸倒引当金	△53	△39
合計	103,115	98,286

(百万円)

	前期 平成20年3月31日現在	当期 平成21年3月31日現在
【負債の部】	(26,164)	(21,942)
流動負債	15,071	13,522
支払手形及び買掛金	5,061	4,432
短期借入金	30	—
一年内返済予定の長期借入金	1,162	70
未払金	3,034	3,267
未払費用	1,064	962
未払法人税等	1,649	1,551
未払消費税等	272	346
賞与引当金	2,402	2,463
返品調整引当金	22	48
その他	371	380
固定負債	11,093	8,420
長期借入金	59	182
繰延税金負債	2,207	0
退職給付引当金	8,536	8,009
その他	290	228
【純資産の部】	(76,951)	(76,344)
株主資本	69,986	73,186
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,441	4,444
利益剰余金	62,270	65,553
自己株式	△1,900	△1,985
評価・換算差額等	6,818	3,006
その他有価証券評価差額金	6,822	3,032
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△4	△26
少数株主持分	147	151
合計	103,115	98,286

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(百万円)

	前期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日	当期 自 平成20年4月 1日 至 平成21年3月31日
売上高	59,450	63,072
売上原価	27,365	28,888
返品調整引当金繰入額	11	26
売上総利益	32,072	34,158
販売費及び一般管理費	25,610	26,610
営業利益	6,461	7,547
営業外収益	1,295	1,183
営業外費用	896	690
経常利益	6,860	8,041
特別利益	18	—
特別損失	—	354
税金等調整前当期純利益	6,879	7,686
法人税、住民税及び事業税	2,509	2,819
法人税等調整額	334	362
少数株主利益	3	4
当期純利益	4,030	4,499

売上高	63,072百万円	(対前期比	6.1%増収)
営業利益	7,547百万円	(対前期比	16.8%増益)
経常利益	8,041百万円	(対前期比	17.2%増益)
当期純利益	4,499百万円	(対前期比	11.6%増益)

● 連結キャッシュ・フロー計算書(概要)

(百万円)

	前期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日	当期 自 平成20年4月 1日 至 平成21年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,346	6,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,070	△3,565
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,149	△2,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	△286	△211
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,841	292
現金及び現金同等物の期首残高	11,312	15,153
現金及び現金同等物の期末残高	15,153	15,446

● セグメント情報

(百万円)

	前期 自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日	当期 自 平成20年4月 1日 至 平成21年3月31日	増減率
医薬品事業			
売上高	48,661	50,357	3.5%増収
営業利益	6,442	6,798	5.5%増益
機能食品事業			
売上高	10,790	12,714	17.8%増収
営業利益	19	748	3,741.1%増益

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表（個別）

● 貸借対照表

(百万円)

	前期 平成20年3月31日現在	当期 平成21年3月31日現在
【資産の部】	(100,421)	(95,446)
流動資産	56,875	56,284
現金及び預金	10,396	13,959
受取手形	253	300
売掛金	26,782	27,288
有価証券	4,599	1,798
棚卸資産	10,072	10,318
繰延税金資産	1,703	1,570
前払金	771	697
その他	295	405
貸倒引当金	—	△55
固定資産	45,546	39,161
有形固定資産	18,952	18,645
建物	7,798	7,475
構築物	310	284
機械及び装置	1,698	1,652
車両運搬具	16	9
工具、器具及び備品	1,067	1,092
土地	8,027	8,017
建設仮勘定	33	113
無形固定資産	247	299
ソフトウェア	221	214
その他	25	85
投資その他の資産	26,346	20,216
投資有価証券	19,208	11,528
関係会社株式	139	129
長期貸付金	453	573
長期前払費用	4,526	6,166
繰延税金資産	—	107
投資不動産	1,356	1,330
その他	713	419
貸倒引当金	△52	△39
合計	100,421	95,446

(百万円)

	前期 平成20年3月31日現在	当期 平成21年3月31日現在
【負債の部】	(25,788)	(21,574)
流動負債	14,891	13,465
支払手形	—	234
買掛金	5,302	4,473
一年内返済予定の長期借入金	1,102	—
未払金	2,876	3,178
未払費用	1,034	935
未払消費税等	260	342
未払法人税等	1,577	1,476
預り金	364	372
賞与引当金	2,350	2,400
返品調整引当金	22	48
その他	0	3
固定負債	10,897	8,109
繰延税金負債	2,207	—
退職給付引当金	8,406	7,886
その他	284	222
【純資産の部】	(74,632)	(73,871)
株主資本	67,810	70,839
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,441	4,444
利益剰余金	60,095	63,205
自己株式	△1,900	△1,985
評価・換算差額等	6,822	3,032
その他有価証券評価差額金	6,822	3,032
繰延ヘッジ損益	△0	0
合計	100,421	95,446

● 損益計算書

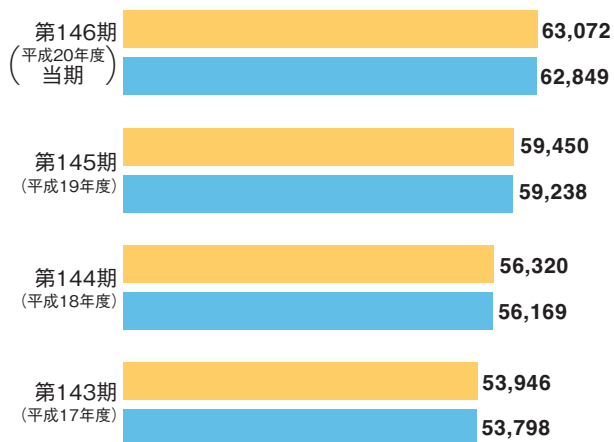
(百万円)

	前期 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日	当期 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日
売上高	59,238	62,849
売上原価	27,411	28,948
返品調整引当金繰入額	12	26
売上総利益	31,814	33,875
販売費及び一般管理費	25,597	26,595
営業利益	6,217	7,279
営業外収益	1,286	1,180
営業外費用	887	716
経常利益	6,616	7,743
特別利益	18	—
特別損失	—	354
税引前当期純利益	6,635	7,388
法人税、住民税及び事業税	2,400	2,690
法人税等調整額	339	370
当期純利益	3,895	4,328

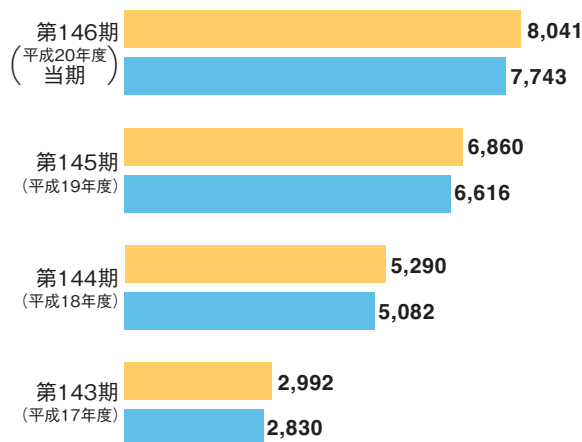
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

業績の推移

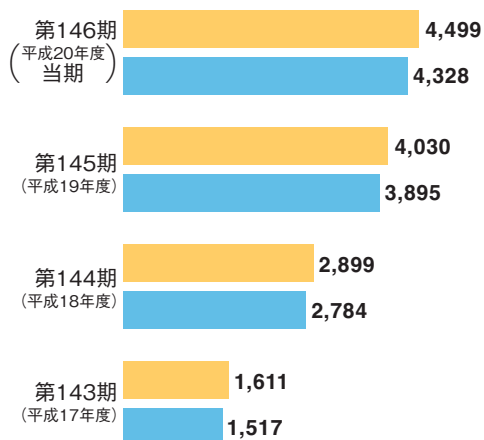
売上高 (百万円)



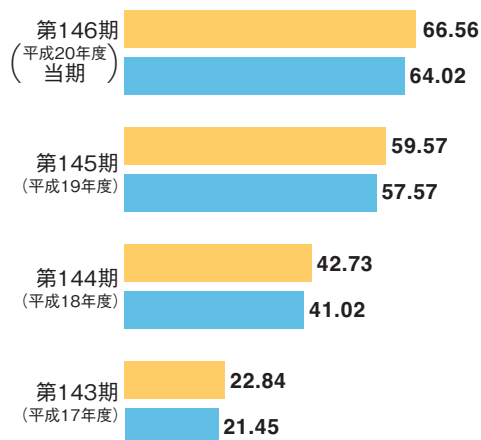
経常利益 (百万円)



当期純利益 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



1 新規抗そう痒(かゆみ)剤に関する大鵬薬品工業株式会社との提携について

当社は、昨年10月大鵬薬品工業株式会社との間で、抗そう痒剤(開発記号:NST-141)に関する基本契約を締結しました。

本契約締結により、当社は大鵬薬品工業に対し、日本国内におけるNST-141の共同開発・共同販売を行う権利を許諾し、大鵬薬品工業から契約一時金のほか、開発段階および売上高達成度に応じたマイルストーンと、売上高に応じたロイヤリティーを受け取ることとなります。

NST-141は、当社で創製した新規の抗そう痒剤であり、局所塗布によって優れた抗そう痒効果が動物試験で確認されています。また、これまでの試験結果より、本品は既存薬が奏功しない難治性のそう痒に対しても効果を示す可能性が示唆されており、アトピー性皮膚炎などに伴うそう痒の新しい治療薬となることが期待されています。

当社は、本契約締結により、大鵬薬品工業と共同で臨床第I相試験を実施することとなります。

2 勃起不全(ED)治療剤「シアリス®」、ならびにタダラフィルの開発中の適応症に関するイーライリリー株式会社との提携について

当社は、今年4月日本イーライリリー株式会社およびイーライリリー・アンド・カンパニーと、ED治療剤「シアリス®」(一般名:タダラフィル)ならびにタダラフィルの開発中の適応症に関するライセンス契約を締結しました。

「シアリス®」は国内では、平成19年9月より日本イーライリリーが販売していますが、本契約により、当社が販売受託し、今年7月1日以降は当社が単独で販売することとなります。

「シアリス®」はEDの経口治療剤で、勃起の達成を妨げる酵素を阻害することによって、勃起を維持しようとする男性の自然な力を助けます。また、食事の摂取により効果が減弱することなく、服用後36時間にわたり勃起機能効果の継続が期待できます。

なお、開発中の適応症とは、肺動脈性肺高血圧症(PAH)と、前立腺肥大症(BPH)に伴う排尿障害で、PAHの適応症については、日本イーライリリーが昨年8月に国内で承認申請を行い、海外においても昨年承認申請しています。また、BPHに伴う排尿障害の適応症については、国内外ともに第Ⅲ相試験を実施中です。

3 「日本新薬こども文学賞」を創設しました

当社は、今年迎える創立90周年を記念して「日本新薬こども文学賞」を創設しました。

「日本新薬こども文学賞」は、絵本を通じて、未来を担うこどもたちの“ゆめ”を彩り、健やかな“ところ”の成長を見守りたいとの願いから、日本児童文芸家協会の後援を得て創設したものです。

第1回目となる今回は、今年1月から3月まで物語と絵画を募集し、全国から物語1,662点、絵画683点、合計2,345点の作品が寄せられ、5月には厳正な審査の結果、物語と絵画各部門の最優秀賞を含む17点の入賞作品を決定しました。

当社では、最優秀賞を受賞した物語に、絵画部門の最優秀賞受賞者が絵をつけた絵本を3万冊制作し、完成予定の今年10月を目処に全国の小児科医院などの医療機関や公共施設等を通じて、広くこどもたちのもとに届けられる他、当社のホームページでも閲覧できる予定です。



絵画部門 最優秀賞
津島タカシ「夜の夢のゾウ」

4 機能食品カンパニーのニュートリション事業について

当社は、昨年2月よりニュートリション素材として、牛乳中の機能性成分（総合乳たん白、ミルクカルシウム、ペプチド、ラクトフェリンなど）の販売を開始し、順調に推移しました。これらの成分は、「濃厚流動食」「スポーツ栄養食」などのニュートリション（栄養食品）分野で、主原料として使用されています。高齢化社会の進展に伴い、ニュートリション分野のニーズは高まり、市場は拡大する方向にあります。

濃厚流動食は、高齢者や要介護高齢者にとって摂取が容易であるとともに、また栄養状態を改善することによって体力の回復を図り、病気の早期治癒や寝たきりとなることを防止することは、社会からの要求でもあります。

また、乳たん白やペプチドが、ヨーグルトの発酵促進や口当たりの滑らかさを付与するなどの品質改良素材として利用されるという新たな展開も加わりました。今後、機能食品カンパニーの主力分野として事業拡大を図っていきます。



会社概要／役員

● 会社概要

創 立	大正8年10月1日
資 本 金	52億円(東証一部・大証一部上場)
従 業 員 数	1,610名
事業内容・主要製品	<p><医薬品事業></p> <p>泌尿器官用薬剤、炎症・アレルギー用薬剤、血液がん用薬剤、循環器系及び代謝性薬剤、消化器官用薬剤</p> <p><機能食品事業></p> <p>調味・香辛料、健康食品素材、品質安定保存剤、たん白製剤、ニュートリション素材、除菌・洗浄剤、小麦製品</p>

連結子会社

会 社 名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
シオエ製薬株式会社	30百万円	100%	医薬品、機能食品の製造
タジマ食品工業株式会社	50百万円	83.5%	医薬品、機能食品の製造
NS Pharma, Inc.	US\$ 300千	100%	医薬品の導出入・臨床開発業務
ラプラスファルマ株式会社	10百万円	100%	機能食品(健康食品)の販売

● 役員 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長	前 川 重 信	(ご参考)	
常務取締役	左 合 敏 彦	執行役員	原 田 博 方
取 締 役	矢 野 純 一	執行役員	桜 井 太 郎
取 締 役	足 立 博 司	執行役員	福 田 吉 孝
取 締 役	福 島 和 夫	執行役員	板 橋 一 成
取 締 役	由 良 能 郎	執行役員	松 浦 明 隆
取 締 役	田 中 次 男	執行役員	今 野 清 隆
		執行役員	阪 田 徹 純
常勤監査役	鳥 山 陽 一	執行役員	佐 藤 嘉 純
常勤監査役	鵜 飼 洋 司 郎	執行役員	野 村 武
社外監査役	田 辺 保 雄		
社外監査役	西 川 一		

株式の状況

● 株式の状況

(平成21年3月31日現在)

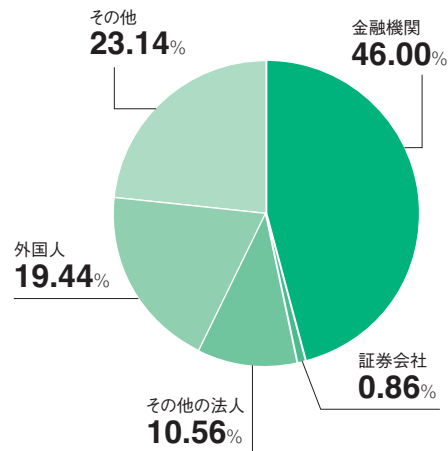
発行可能株式総数	200,000,000 株
発行済株式の総数	70,251,484 株
株主数	5,791 名

● 大株主の状況

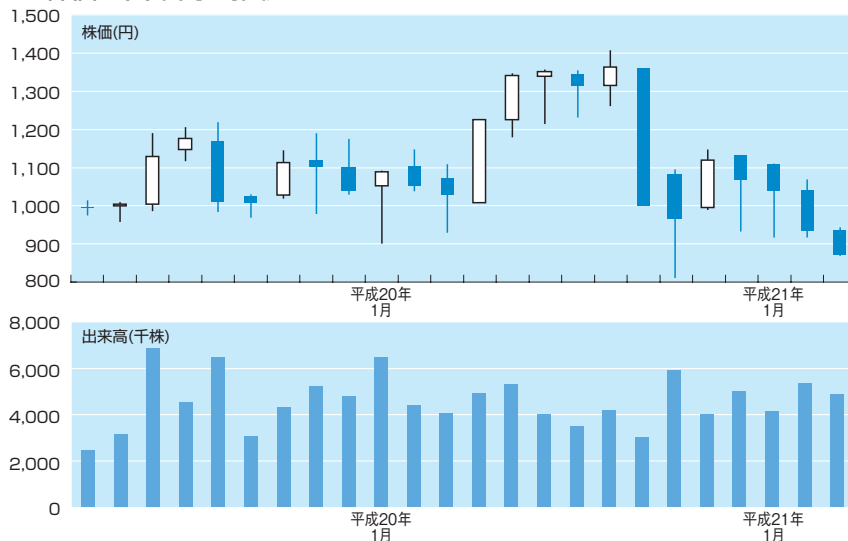
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
明治安田生命保険相互会社	6,570	9.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,803	7.11
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,315	4.91
株式会社京都銀行	3,090	4.57
日本生命保険相互会社	2,974	4.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	2,587	3.83
東京海上日動火災保険株式会社	1,958	2.90
三菱商事株式会社	1,732	2.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,728	2.56
日本新薬従業員持株会	1,336	1.98

(注)出資比率は自己株式(2,674,288株)を控除して計算しております。

● 所有者別株主分布状況



● 株価／出来高の推移 (平成19年4月～平成21年3月)



株主メモ

決算期	3月31日
期末配当受領株主確定日	3月31日
中間配当受領株主確定日	9月30日
定時株主総会招集時期	6月(同総会権利行使株主確定日 3月31日)
1単元の株式数	1,000株
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 (当社ホームページ http://www.nippon-shinyaku.co.jp/)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 電話お問合せ先 0120-094-777 (平日 9:00~17:00)
上場証券取引所	東京(第1部)、大阪(第1部)
証券コード	4516

お知らせ

株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、連絡先が下記のとおりとなります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
各種お手続きの連絡先	お取引の証券会社になります。	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。 また、各種手続用紙の請求は、お電話ならびにインターネットにより24時間受け付けております。 0120-244-479(東京) 0120-684-479(大阪) http://www.tr.mufig.jp/daikou/

(ご注意)いずれの場合も未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



日本新薬株式会社

〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14
<http://www.nippon-shinyaku.co.jp>
TEL.075-321-1111(大代)



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認定されました。



この印刷物は環境に考慮し、大豆インキ・水なしオフセット印刷・針金を使用しない製本で制作しています。

※この用紙費用の一部は「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄付されております。